

## 令和3年度以降の取組について

令和2年度第1回保険者協議会データ分析部会において、令和3年度の取組についてご意見を伺いました。  
(参考資料)

### 【主なご意見】

- ・糖尿病性腎症重症化予防の分析結果を持ち寄り、共通の課題や効果的な対策の検討は意義がある。
- ・後発医薬品の使用状況を年齢層別に分析し、使用促進対策を考える。  
また、使用率の高い保険者の分析と好取組事例
- ・多くの保険者が実施する事業(重症化予防事業の実施結果、健診受診勧奨事業の結果)と、  
保険者独自の事業(協会けんぽの場合は後発医薬品)の双方の実施
- ・テーマはがんを希望
- ・事務局で候補となるテーマを出して欲しい
  
- ・データ分析や結果を踏まえた取組を積極的に実施している保険者の好事例の共有  
(分析に至った背景や課題の抽出から実施時の課題まで)
- ・うまく回転していない事業に対する助言と実施前後の結果の共有
  
- ・データヘルス推進事業のデータ分析について
  
- ・健康スコアリングレポートの共有を通じ、来年度の検討テーマを決めて検討してはどうか。  
なお、協議会を充実させるためにも、分析経験の少ない保険者の意見を中心にテーマを決定すると  
まとまりやすい。
  
- ・分析結果を持ち寄るということであれば、事前に分析方法の案内等の資料をいただきたい。
- ・テーマについて、予算要求時期を逃すと分析結果の持ち寄りは難しい。
- ・分析は外部委託を実施するのも一つの手である。

## 協議内容

ご意見を踏まえ、第1回で比較的多くあげられていた特定健診・特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、後発医薬品について、データ分析にもとづいた取組事例を報告書にとりまとめてはいかがでしょうか。

(例)

- ・平成31年3月に作成した「データを活用した保健事業の取組事例集」※の深堀り  
※平成29年12月に作成した「データ分析に関する調査報告書」より保険者を抽出
- ・平成25年度に作成した「レセプト・特定健康診査等データを活用した事例集」※  
※委員が分析した事例を持ち寄り、報告書を作成

また、後発医薬品については、令和元年度、東京都において保険者等にアンケートを実施しました。

(参考資料)

アンケート結果から、使用割合の高い保険者と差額通知の抽出基準などの分析を実施し、報告書に盛り込むことも考えられます。